



篠原小学校「学校だより」

令和8年9月1日

しのさっ子



通知表から未来を語ろう

39日間の夏休みが終わり、子供たちの元気な声が学校に戻ってきました。オンラインで行われた始業式中で、代表の子供が、堂々とした態度で2学期に頑張ることを発表することができました。

さて、篠原小学校では、1年間の教育活動の評価を前期・後期の2期に分けて、通知表（あゆみ）を作成しています。前期の配付日は、10月1日（木）の予定です。通知表は、お子さんが学校生活で、どのようなことを頑張っていたのか、また、努力が必要なことは何かを表記しています。子供は、通知表を通して自分自身を振り返ることで、これまでの学びを次の学びに生かすことができると思います。そのために、お子さんが持ってきた通知表を見て親が評価の感想を述べる前に「今回の、あゆみを見て、どんなことを思ったかなあ。」と、聞いてあげてください。その後、頑張ったことや伸びているところは褒め、努力が必要なことは親子で一緒に改善方法を考えてみてください。過去の結果より、子供自身が「～を学びたい」という目標をもち、未来の学びに対して前向きになることが大切だと思います。

【 あゆみの評価について 】

1 学習の表れについて

すべての教科は、以下の3観点で評価しています。

(1)「知識・技能」

知識・技能の習得状況について評価します。また、これまでに身に付けた知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活場面でも活用できる程度に理解したり、必要な技能を習得したりしているか評価します。

(2)「思考・判断・表現」

課題解決に必要な思考力・判断力・表現力が、身に付いているか評価します。

(3)「主体的に学習に取り組む態度」

自分の学びを振り返り、学習を組み立てていく力（調整力）や、課題に対してあきらめることなく最後まで取り組む力（粘り強さ）について評価します。

2 行動の表れについて

学校生活での行動の中で、「責任感」「思いやり・協力」「公共心・公德心」等の10項目のうち、お子さんの個性のよさが特に発揮された項目を記しています。

通知表が、子供たちのすこやかな成長につながっていくことを期待しています。

文責 林 裕一（主幹教諭）